

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年絵画造形専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画概論	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。</p>			
【講義概要】			
<p>日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテイスト(味わい)を吟味してみましよう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション；作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		
2	作品を見て「感動する」；連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		
3	絵画の成り立ち方-1；形の出現と消滅		
4	絵画の成り立ち方-2；正面性、平面性、絵画と立体の違い		
5	絵画の成り立ち方-3；色彩表現をめぐる		
6	色と構成の力；色彩による表現力、構図による表現力		
7	絵画の表現性-1；同次元結合と異次元結合		
8	絵画の表現性-2；同次元結合と異次元結合		
9	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1；絵画に問題はあるのか		
10	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2；何が絵画の問題なのか		
11	サステナビリティとしての絵画；イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどのような経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』（共著）その他。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年絵画造形専攻専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田 雅樹	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
【講義概要】			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回			
授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション	17	会話と演習
2	会話と文法	18	会話と演習
3	会話と文法	19	会話と演習
4	会話と文法	20	会話と演習
5	会話と文法	21	会話と演習
6	会話と文法	22	会話と演習
7	会話と文法	23	会話と演習
8	会話と文法	24	会話と演習
9	会話と文法	25	会話と演習
10	会話と文法	26	後期まとめ
11	会話と文法	27	後期まとめ
12	前期まとめ	28	後期まとめ
13	前期まとめ	29	後期まとめ
14	中間試験	30	後期試験
15	会話と演習		
16	会話と演習		
【成績評価方法】			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。朗読、吹替え、PVやアートビデオ出演の他、THEATRE茶房の冠ではプロデュース、演出を兼務。俳優を生かした外国語習得の方法論の探求、実践に取り組む。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年絵画造形専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座／就職セミナー	ゲスト講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
【講義概要】			
6/11(土)海外講座A、7/9(土)就職セミナーA、9/17(土)2年就職セミナー、10/15(土)同窓会講座、10/29(土)就職セミナーB、11/19(土)海外講座B、12/11(土)創形展講座、2/10(金)就職セミナー（就活ポートフォリオ）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	海外講座A		
2	就職セミナーA		
3	2年就職セミナー		
4	同窓会講座		
5	就職セミナーB		
6	海外講座B		
7	創形展講座		
8	就職セミナー（就活ポートフォリオ）		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語	蔣 燕萍	3単位 69時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。</p> <p>②語彙力の向上</p>			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・ 模擬試験。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	模擬試験		
15	講義		
16	講義		
17	講義		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年絵画造形専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。</p>			
【講義概要】			
<p>様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		
3	佐伯啓思の思想と芸術。		
4	カルロ・ロヴェッリの思想と芸術。		
5	語りかけることと芸術（上）。		
6	語り掛けることと芸術（下）。		
7	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		
8	暗黒舞踏という芸術。		
9	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		
10	GAFAと5Gとこれからの芸術。		
11	まとめ。		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川寅雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画技法実習A(グリザイユ)	工藤礼二郎	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
油彩画が生まれた初期ルネサンス技法を通じて絵画の物理的構造やその効果を体験する。			
【講義概要】			
ファン・アイクに代表される初期フランドル派の油彩技法によるパネルを支持体としたグリザイユ(モノクロームの絵画)を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス・地塗り・撮影		
2	地塗り・図版加工・図版決定		
3	支持体研磨・トレース・不透明層描画		
4	不透明層描画		
5	キャンバス張り・膠引		
6	不透明層描画・確認・乾燥		
7	乾燥確認・不透明層研磨		
8	グラッシィ・描写		
9	グラッシィ・描写		
10	グラッシィ・描写		
11	グラッシィ・描写		
12	グラッシィ・描写		
13	グラッシィ・描写		
14	グラッシィ・描写		
15	講評会		
16	追加制作／片付け		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	現代美術演習A	山本 晶	1単位 27時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
多様化する美術表現を体験し、表現の可能性の幅、及び表現は唯一ではなく複数であることを発見する。			
【講義概要】			
発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。個人の視点がどのように表現方法につながるのか。個人の内側にある発想が公共空間に置かれた時にどのように映るのか。演習を通して体験します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	演習I：自己と表現		
3	演習I：他者の考え		
4	演習II：身体		
5	演習III：色について		
6	演習IV：描く／描かれるもの		
7	演習V：破壊と再構成の自画像		
8	演習VI：mapping		
9	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画材料講座	工藤礼二郎	0.5単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
油絵具における顔料や展色剤の性質やキャンバスの構造や特性に触れることで絵画材料と表現の関係性を知る。			
【講義概要】			
油絵具のそれぞれの色相による特徴や、様々なワニスの性質を知り、それらの制作と表現に活かすことができるようにする。半吸湿性キャンバスを製作し、市販の油性キャンバスとの違いを体験する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	油絵具についての解説		
2	木枠の組み立て・市販キャンバス張込み		
3	ローキャンバス張込み・膠引き		
4	エマルジョン白色塗料制作・塗布		
5	研磨		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画技法実習B(混合技法)	安藤孝浩	3単位 66時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法である油彩とテンペラによる混合技法を修得することを目的とする。			
【講義概要】			
有色下地を施したキャンバスにエマルジョンテンペラと油彩の積層からなる描画により、視覚的リアリズムを追求する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	下地塗り3層乾燥後に図版の写し	17	制作指導
2	地透層（インプリマトゥーラ） 白色浮出	18	制作指導
3	油絵の具1層目及び白色浮出	19	制作
4	制作	20	制作
5	制作	21	制作
6	制作	22	講評会
7	制作		
8	油絵の具2層目以降及び白色浮出		
9	制作指導		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1991年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。2016年～2019年東京藝術大学非常勤講師。現在、科学とアートを横断する作品を制作。主な活動として、2009年～2012年宇宙航空研究開発機構（JAXA）とコラボレーションした文化・人文社会科学利用パイロットミッション『お地球見』（ISS国際宇宙ステーションにて実施）など。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	物質と絵画	伊藤泰雅	3単位 81時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点以上制作する。</p>			
【講義概要】			
<p>主題について文章(言葉)と素描によりできるだけ明確にする。単色、有色の素描、コラージュによりエスキースを重ねる。支持体を選択(複数も可)し、手法を決める。物としての強度について意識しながら作品を制作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/デッサン	18	タブロー制作
2	デッサン	19	タブロー制作
3	デッサン	20	タブロー制作
4	デッサン/コラージュ	21	タブロー制作
5	デッサン/コラージュ	22	タブロー制作
6	デッサン採点/下地作り	23	タブロー制作
7	エスキース/下地作り	24	タブロー制作
8	エスキース/下地作り	25	タブロー制作
9	エスキース/下地作り	26	タブロー制作
10	エスキース/下地作り	27	講評会
11	エスキース/下地作り		
12	エスキース/下地作り		
13	エスキース採点/タブロー		
14	タブロー制作		
15	タブロー制作		
16	エスキース採点/タブロー		
17	タブロー制作		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1964年静岡県生まれ。1991年東京藝術大学大学院油画技法・材料修了。絵画を制作、個展を中心に発表。2001年関口芸術基金賞展優秀賞。最近の主な活動は、2016年・2018年・2020年個展（ギャラリー檜）、2017年第2回アートオリンピック入賞、2021年「表層の冒険-抽象のパロキスム」展参加など。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ドローイング	山本 晶、工藤礼二郎	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>絵画に対する視野を広げ、その多様性と可能性に触れることで、自らの表現世界をより豊かなものにする。</p>			
【講義概要】			
<p>「7日間の色と形」「7日間の身体性」「自分の表現とは？」を1週間ごとに様々な手法でドローイング。イメージの展開や絵画としての多様な造形要素とはどういうものか実践をとおして探る。最終的に出来上がったたくさんのドローイングを自分で編集。ドローイングブックにして綴じ、作品として自立しうるかを検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	造形要素のサンプリング①	17	制作
2	制作	18	制作
3	造形要素のサンプリング	19	制作
4	造形要素のサンプリング	20	講評会
5	造形要素のサンプリング		
6	造形要素のサンプリング		
7	造形要素のサンプリング		
8	総合的ドローイング制作		
9	総合的ドローイング制作		
10	総合的ドローイング制作		
11	総合的ドローイング制作		
12	総合的ドローイング制作		
13	総合的ドローイング制作		
14	総合的ドローイング制作		
15	総合的ドローイング制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>山本 晶：武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシッ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。</u></p> <p><u>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。</u> <u>1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	現代美術演習B	黒瀬陽平	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
カリキュラム全体を通して各自が制作テーマ、モチーフを発見し、自分なりの制作プロセスを組み立て、作品を完成させることを目標とします。講義では、個別の作品分析、事例分析を中心に進めますが、学生からの質問やリクエストに応じて内容は変化します。			
【講義概要】			
現代美術への理解を深め、作品制作を進めてゆくために、講義と課題制作、セッション（課題作品についてのプレゼン、ディスカッション）、講評会を組み合わせたカリキュラムを組んでいます。課題制作とセッションを繰り返すことで、学生ひとりひとりの制作プロセスにコミットし、議論を積み重ねながら作品制作を進めてゆきます。講義では狭義の現代美術に限らず、サブカルチャーも含めた他ジャンル、他メディアの作品を数多く扱います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション+講義①②		
2	課題1セッション		
3	講義③④		
4	課題2セッション（中間講評会）		
5	課題3セッション		
6	講義⑤⑥		
7	課題4セッション		
8	最終講義+総評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1983年生まれ。美術家。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻博士後期課程修了。博士（美術）。アーティストグループ『カオス*ラウンジ』を結成し、展覧会やイベント等をキュレーション。キュレーション作品に『市街劇 百五〇年の孤独』（2017年）など。著書に『情報社会の情念』（NHK出版、2013年）。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画と物語	山口 藍	3単位 168時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>支持体と描画の関係性 平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。 ※キャンバス以外にも、あらゆる物に支持体の可能性を探ってみること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	29	制作
2	制作	30	制作
3	制作	31	制作
4	制作	32	制作チェック
5	制作チェック	33	制作
6	制作	34	制作
7	制作	35	制作
8	制作	36	制作
9	制作チェック	37	制作チェック
10	制作	38	制作
11	制作	39	制作
12	制作	40	制作
13	制作チェック	41	制作
14	制作	42	制作チェック
15	制作	43	制作
16	制作	44	制作
17	制作チェック	45	制作
18	制作	46	制作
19	制作	47	制作チェック
20	制作	48	制作
21	制作チェック	49	制作
22	制作	50	制作
23	制作	51	制作
24	制作	52	制作
25	制作	53	講評会
26	制作チェック		
27	制作		
28	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンバス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真と美術	松蔭浩之	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。			
【講義概要】			
歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	写真の誕生／カメラの仕組み		
2	私の写真論1／カルティエ・ブレッソンを「読む」		
3	デジタルカメラ入門1		
4	私の写真論2／WS「モノクロ・ユニバース」		
5	デジタルカメラ入門2		
6	セルフポートレート実践／森村泰昌		
7	セルフポートレート実践／WS 講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	抽象絵画考	工藤礼二郎、徳永陶子	3単位 93時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
抽象絵画が難解で分かりづらい芸術であるという呪縛から解き放ち、表現手段の一選択肢として考慮できるようにする。			
【講義概要】			
20世紀初頭に誕生した抽象絵画という概念や形式はどのようなものなのか。またそれらは21世紀の現在においてどのように引き継がれるであろうか。概念的な思考の前にまずは抽象の様々なあり様を描くことを通して体験し、自らの表現として獲得しうるかを試みる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作チェック
2	抽象絵画について	19	制作
3	抽象絵画について	20	制作
4	制作チェック	21	制作チェック
5	ドローイング	22	制作
6	ドローイング	23	制作
7	制作チェック	24	制作チェック
8	タブロー制作	25	制作
9	タブロー制作	26	制作
10	制作チェック	27	制作チェック
11	制作	28	制作
12	制作	29	制作
13	制作チェック	30	制作
14	制作	31	講評会
15	制作チェック		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</u> <u>徳永 陶子：1967年東京生まれ。1991年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。1995年パリ国立高等美術学校卒業、クロード・ヴィアラに師事。平成13年度ポーラ美術振興財団在外研修助成により南仏にて研修。国内外にて個展、グループ展多数。</u>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	制作とステイトメント	工藤礼二郎、船井美佐	3単位 153時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
制作と並行してステイトメントとポートフォリオの実践も行う。以後、継続してポートフォリオの充実が図れるよう基本形を構築する。また DMの作成、作品展示の具体的な体験指導も行う。			
【講義概要】			
各自が任意の一つのテーマに沿って、3～5点の連作を制作する。モチーフ、テーマ、描画方法などは自由。作品サイズは一点に尽き8号～20号とする。講師との対話、クラス内での意見交換や文章理解などにより自分の制作を観察していく過程を大切にしながら、学内ギャラリー「ギャラリー・プント」で展示、発表するという目標に向けて制作プロセスを立案、実行する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	28	作品制作
2	作品制作	29	作品制作
3	作品制作	30	作品制作
4	作品制作	31	制作指導
5	作品制作	32	作品制作
6	制作指導	33	作品制作
7	作品制作	34	作品制作
8	作品制作	35	制作指導
9	作品制作	36	作品制作
10	制作指導	37	作品制作
11	作品制作	38	作品制作
12	作品制作	39	中間講評
13	作品制作	40	作品制作
14	制作指導	41	作品制作
15	作品制作	42	制作指導
16	作品制作	43	作品制作
17	制作指導	44	作品制作
18	作品制作	45	作品制作
19	作品制作	46	制作指導
20	作品制作	47	作品制作
21	中間講評	48	作品制作
22	作品制作	49	作品制作
23	作品制作	50	作品制作
24	作品制作	51	講評会
25	制作指導		
26	制作指導		
27	作品制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。 1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー一現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			
船井 美佐：1974年生まれ。現代美術作家。筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。線や色面、鏡を用いたインスタレーションにより現代絵画の可能性をさぐる。2009,2010年VOCA展/上野の森美術館、2017年個展/国際芸術センター青森、パブリックアートに明治大学、GINZASIXなど、その他多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	現代美術演習C	船井美佐	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
古今東西の絵画にまつわる様式や表現の歴史について知り、日本の伝統的な絵画様式を体験する。日本絵画の遍歴や特質を知ること、美術の歴史の延長線上にある現代の自分の位置について考える。今後、現代の自分だけの新しい表現様式を作っていくための基礎知識を培う。			
【講義概要】			
絵画について、古今東西の伝統的な様式から現代までのあり方を比較しながら学び知ること、現代のまだ見ぬ新しい絵画表現について考えるための手掛かりとする。毎回、レクチャーの後に、実際の画材や技法を体験しドローイングを制作する。またはテキストを提出。内容は、1、「絵の中」何をどう描くか？対象を2次元に表す方法の様々なことについて。2、「絵の表面」何を使って描くか？絵具や絵肌、支持体などの物質としての絵画のあり方の変化について。3、「絵の外側」どのように展示するか？作品と人と空間の関係の多様性について。最後にそれまでの授業の制作物で空間を構成し、各自インスタレーションとして発表する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題説明・各自作品を持って自己紹介		
3	プランを発表・制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	発表 講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年東京都生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科染織専攻卒業。サウンド・スカルプチュアを製作、展示／ライブパフォーマンスを行う。『六本木クロッシング2010展』森美術館、『宇治野宗輝 ポップ／ライフ』彫刻の森美術館、『ヨコハマトリエンナーレ2017』等。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	先端メディア	八幡純和	1単位 12時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。			
【講義概要】			
ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	企画・演出		
3	企画・演出		
4	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>携帯キャリア公式コンテンツ配信プラットフォームやアプリストアなど、主に大規模システムの開発・運用に携わる。2015年 Psychic VR Lab 設立に参画。三越伊勢丹やパルコ、ファッションブランドとVRを活用した様々な企画・製作を手掛ける。2018年パルコらと共に様々なクリエイター／アーティストとVR/MRを使って超体験をデザインするプロジェクト NEWVIEW をスタート。</u>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	主題研究・インターンシップ	工藤礼二郎 山本 晶 山口 藍	7単位 180時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
2年次の授業を総合的に判断し、また新たなアートシーンにも触れながら3年次へ向けた自らの主題を探る。			
【講義概要】			
各自制作可能な大きさ、内容に挑戦してもらいます。2点制作。版サイズ450×300mm程度 就業体験（インターンシップ）をし、それをレポートにまとめて提出。（希望選択制）／就業につながる課題制			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	36	作品制作
2	作品制作	37	作品制作
3	作品制作	38	作品制作
4	作品制作	39	制作指導
5	作品制作	40	作品制作
6	制作指導	41	作品制作
7	作品制作	42	作品制作
8	作品制作	43	制作指導
9	作品制作	44	作品制作
10	制作指導	45	作品制作
11	作品制作	46	作品制作
12	作品制作	47	中間講評
13	作品制作	48	作品制作
14	制作指導	49	作品制作
15	作品制作	50	制作指導
16	作品制作	51	作品制作
17	制作指導	52	作品制作
18	作品制作	53	作品制作
19	作品制作	54	作品制作
20	作品制作	55	制作指導
21	1点目講評	56	作品制作
22	作品制作	57	作品制作
23	作品制作	58	作品制作
24	作品制作	59	作品制作
25	制作指導	60	連作作品講評
26	作品制作		
27	作品制作		
28	作品制作		
29	制作指導		
30	作品制作		
31	作品制作		
32	作品制作		
33	制作指導		
34	作品制作		
35	作品制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。 1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。 山口 藍：1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンパス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。 山口 藍：1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンパス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。			